

第2回大野市文化活動の環境づくり評価委員会 議事録

●日時 令和8年6月30日（火）午前9時～10時25分

●会場 学びの里「めいりん」2階洋室（中）

1 開会（委員長）

2 議事

（1）ニーズへの対応の評価結果

事務局から資料に基づき説明【資料1】

<意見・質問等>

委員 評価結果は分かりやすく整理されている。本日は対応時期や方法、順位の妥当性についてご意見を伺いたい。点数順に優先度が整理されているが、評価時に同じ分類の中での相対評価となっていて、全体を通じて項目間の重要度が十分反映されていない可能性もある。点数が僅差の対応は、話し合っただけで優先度を見直すなども含め検討したい。

委員 観客座席の改良に関するニーズの評価が高かったが、ステージの下に収納することを考えているのだろうか。

事務局 椅子をステージの下に収納できるのかは確認できていないが、収納する頻度は低い。学校や関係部署との調整が必要だが、常時出したまま運用する可能性もある。

委員 基本は椅子を出したままで、ステージ下に収納するのは年に数回で、ステージ下に収納できなくても何らかの方法で対応が可能らしいと伺った。現状はステージ下に収納しているので、現状との比較のために確認しておいた方がよい。

委員 収納できる可能性はあると思うが、実際どうなのか確認すべき。

委員 関係課と要調整というのは、これは主に教育委員会か。
大規模改修の時期は、概ねでもお知らせ頂けるのだろうか。

- 事務局 主に教育委員会と調整している。時期については資料２で大規模改修に向けた取り組みの状況を説明させていただく。
- 委員 大規模改修は、いつ頃になりそうか。利用者としては改修時期がいつ頃か気になると思う。
- 事務局 大規模改修基本計画素案の作成が７月中旬。そこから実施設計をし工事はその後となる。具体的な年数は示しにくい、数年単位で検討が進む案件であり、遠い将来の話ではない。
- 委員 利用者からするといつまで我慢すればよいのか、と考えてしまうかもしれない。問い合わせもあるかもしれない。
- 委員 音響設備の充実、運用面で対応となっているが、今のところ何もする予定はないのか。
- 事務局 今回の評価では大型・高出力の機材が必要な場合は利用者が持ち込む対応の評価が高くなった。それらに係る費用等は市の補助金でも対応していきたい。
- 委員 構造上、ステージで演者等が自分の声が聞き取りにくい、配線やスピーカーの改善が必要になると思う。また、ロビーにいる人にアナウンスする放送設備がない、スピーカーが必要になる。少しでもより充実した環境となるよう何か対応できないだろうか。
- また、照明設備の充実でステージライト２機とあるが、２機では不十分でないか。北面のブラインドが故障していて外からの明かりが漏れており、室内の照明効果が薄れてしまうので、何とかならないだろうか。
- 委員 音響について、機能面では検討、評価が不十分。少しでも本格的に整備するのであれば、機能付加を検討すべきでないだろうか。また、ブラインドの問題などは、補修として対応すべき。
- 委員 音響設備（スピーカー等）の評価と反響板の評価がバラバラにされている。大事な発表の場に代わるものならば、音響についても

う少し考慮しないと利用者の納得が得られないのではないか。大規模改修に合わせて反響板単体の話ではなく、全体の音響環境の見直しが必要。

委員 音響環境を再検討したほうが良い。実際に客席で聞いた印象として左右の音が割れて聞こえる。改修の予定があるのであれば、その際に、検討した結果に基づいて環境を整備していくのが良いだろう。

委員 ムービングライトは、すでに入札案件となっているようだが。

事務局 演出用のムービングライトは、今年度を実施するものである。

委員 優先順位4位の目隠し幕の設置について、移動式のパネルを利用する案があったが、袖幕を付ける案になってこちらの方が良いと思う。実際にできるのか、確認したほうが良い。

委員 整備の方法としてはスマートであるが実際に可能だろうか。できるとしても費用が大きくなりすぎないだろうか。

委員 反響板だけでなく、音響環境を確認すべきだと思う。

委員 音響設備（スピーカーや反響板）と音響環境（音漏れや防音）と2つにまとめて評価した方がよいと思う。

事務局 音響設備と音響環境でそれぞれ再評価をしていただくと良いのではないかと思う。

委員 委員会で評価した結果なので点数だけで決めたものではないという事で、事務局が恣意的に決めたことにはならないが、外部への客観的な説明のしやすさの点でも点数をつけて再評価するのが良いだろう。追加の評価項目があるという事なので、これらと一緒に評価することにはどうか。

委員 雨音の問題を解決しないと音響の問題も残ることになる。優先順位をもう少し上げて良いのではないだろうか。

委員 わたしも重要だと思ったが、導入コストが大きい。

- 委員 雨音の問題だけでなく建物全体の改修が必要になるのではないか。
- 委員 雨音の対策は、比較的下位になっているが、大規模改修のタイミングでの対応をする位置づけになっている。
- 委員 雨音の対策は、導入コスト以外は、評価が高くなっている。大規模改修のタイミングで対応するのが良いだろう。
- 事務局 評価委員会で評価いただいた結果を踏まえて、実際に実施可能かどうかは市においても精査させていただきたい。

(2) 学びの里「めいりん」改修検討会議の概要

事務局から資料に基づき説明【資料2】

<意見・質問等>

- 委員 大規模改修に係る対応は、導入コストの面で評価が低くなって順位が落ちているが、導入コスト以外は評価が高い項目が多い。その点をしっかり鑑みて大規模改修に合わせて検討いただきたい。
- 委員 利用してみての使用感をヒアリングしてニーズを吸い上げて評価する流れだったと思う。
- 事務局 文化活動関係者と今後、意見交換を行うとともに使用感も確認する。
- 委員 屋根のカバー工法を実施することで、ある程度、雨音は改良することができるはず。断熱、防音材を挟み込んだり、カバー材の裏面に張り付けたりすることで効果がある。
- 委員 現在の屋根の改修工法の検討は、断熱と防水が主になっている。断熱、防水をすれば、少しは雨音問題も軽減されると思う。
- 委員 ランチルームや調理室と一般利用者の動線クロスの問題は、どのように処理するのだろうか。
- 事務局 具体的な場所は検討中だが、調理室、ランチルームも学校の内部に入れてしまい、シャットアウトすることも含めて検討中である。

委員 給食を作る場所を移動するのは大変な事であり、簡単に変えることはできないだろう。

委員 生涯学習の関係で調理場を使うことがあるのではないかな。

事務局 ご指摘の通り、生涯学習などで調理場を使う機会はある。検討中の段階であり、詳細な実施方法を詰めている段階ではない。

(3) これまでに聴取した市民ニーズの一覧

事務局から資料に基づき説明【資料2】

<意見・質問等>

委員 フットライトの導入コストは精査した方がよいかもしれない。

事務局 改めて算出させていただく。

委員 可動式の段に、フットライトを入れて配線するのは、かなり難しいのではないかな。既存の可動式の設備に入れるのは難しいのではないかな。

委員 利用頻度がどの程度あるのかが分からない。

委員 評価のための情報として利用実績などの資料をいただきたい。

事務局 文化会館の利用実績として平日から占用している頻度などをお示しする。

委員 資料に記載のものに加えて、先ほどの音響設備と音響環境の再評価も必要になる。さらに、今後、めいりんを使用した上でのニーズを追加で評価することになるのだろうか。

事務局 追加項目があれば、評価していただく。これまでアンケートなどで意向を聞く範囲では、新たなニーズの追加はなさそうであるが、もしも新規のニーズが出てくれば、早めにご相談させていただく。

3 その他
特になし

4 閉会（副委員長）